

母校のいま

中学卒業生数	4,418名
高校卒業生数	15,837名
在校生数	中学 203名 高校 1,353名
教職員数	126名

※2023年5月1日現在

発行人：常翔啓光学園
校友会 啓聖会

〒573-1197 大阪枚方市禁野本町1丁目13-21
TEL 072-848-0521 FAX 072-848-2969

ホームページを随時内容更新中!
HP <http://www.am-kg.jp>

LINE@ 同窓会 LINE公式アカウント
@cui2214xで検索!

Twitter @keiko-dousoukai



常翔啓光

Alma Mater

2023年
8月5日
第39号



常翔啓光学園開学65周年記念祝賀会並びに第1回同窓会

常翔啓光学園 開学65周年記念祝賀会 並びに第1回同窓会

2022年10月23日(日)リーガロイヤルホテル大阪にて無事に行うことが出来ましたことご報告申し上げます。
ようやくコロナ禍も収束に向かう傾向になり、同窓会におきましては3年ぶりの開催となりました。当日は、卒業生及び現・旧教職員の皆様の多数の参加を賜りました。

一年間のご報告

平素は格別のご高配を賜り、卒業生を代表し厚く御礼申し上げます。同窓会を予定していただき、コロナ禍もようやく終息の方向に向かい、皆様の多大なご理解とご協力を賜り、昨年、10月23日リーガロイヤルホテルにて常翔啓光学園開学65周年記念祝賀会並びに第1回同窓会を無事に行うことが出来ましたこと御礼申し上げます。同窓会ページもご確認いただきませうようお願いいたします。
私達の母校と学園の更なる発展と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。
なお、今年は、開学66周年記念祝賀会です。



常翔啓光学園「オリジナルタオル」

会報発行に寄せて

卒業生の皆さま、いつも本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平日にも関わらず保護者の方も営にもご協力いただき、感謝しております。

この3年、日本中を、そこどころか世界中を混沌とさせた新型コロナウイルス感染症の猛威も去り、4月からはほぼコロナ前の状態で学校教育を行うことができています。

入学式は4月7日に挙行しました。中学生59人、高校生455人の新入生を迎え、生徒総数1556人でのスタートとなりました。

学校行事も順調に実施できています。特筆すべきは、5月26日に実施した高校体育祭です。啓聖会は、多くの卒業生からのご厚志をいただき、昨年7月に人工芝グラウンドが完成しました。高校生にとっては初めての人工芝グラウンドを使っての体育祭でした。一面の緑の中で躍動する

末筆になりましたが、皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。

常翔啓光学園中学校・高等学校 校長 山田長正

ワンダーフォーゲル部

長きにわたる新型コロナウイルスも落ち着きを見せ日常に戻ってきました。昨年、ワンダーフォーゲル部は、OB諸先輩から現役生まで縁の糸が途切れることなく紡がれて、創部60周年という時代の節目を迎え、12月11日に、この慶事を祝うとともに、鬼籍に入られた先輩方を偲びつつ周年記念式典、祝賀会を開催致しました。同12月には、現役部員4名がスポーツライミングにおいて第13回全国高等学校選抜クライミング大会へ出場し、女子団体4位という、また大きな1歩となる成績を残してくれました。

ワンダーフォーゲル部の活躍は常翔啓光学園内に留まらず、グループ校間において大きな役割を担うほどになりました。摂南大学に「スポーツライミング部」が発足し、常翔啓光学園高校との高大連携を念頭に、関西圏における普及、強化を目指し、日本山岳・スポーツライミング協会所属・中貝 次郎 氏をヘッドコーチに迎え、ワンダーフォーゲル部現顧問の北田 広明 先生がアドバイザーとして携わることになりました。

これにより、常翔啓光学園中・高、摂南大学、という中高大一貫でグループ校内におけるスポーツライミングに打ち込める環境が整いました。実際、同スポーツライミング部には、常翔啓光学園ワンダーフォーゲル部OBが2名在籍しており、このプロジェクトの狙い通り、よりクライミングの技術向上に磨きをかけています。

また新年度2023年を迎えた5月21日には、摂南大学、常翔啓光学園のワンダーフォーゲル部同士による須磨アルプス日帰り登山を実施し、スポーツライミングのみならず、登山においてもグループ間の交流とお互いの技術向上に務めており、更なる飛躍が期待されました。

さらに、同月には、春季登山大会において女子チームが1位という輝かしい成績で、8月に北海道で開催されるインターハイ・第67回全国高等学校登山大会への出場が決定致しました。OB・OG会では、これを祝すと共に、大会当日の健闘を祈り、壮行会を開催させて頂きました。

記録的な猛暑される山の天候等、自然に左右される競技ですので、大会当日は、持てる力を出し切って欲しいのはもちろんですが、無事に帰路に着いてくれることを何よりも願っています。

OB・OG会の1人として、現役生との交流ができることは無上の喜びです。

ワンダーフォーゲル部の活躍、そして縁の糸に終わりはありません。

微力ではありますが、これからも、ワンダーフォーゲル部の為に尽力していきます。

ワンダーフォーゲル部OB・OG会会長 谷本 龍信 (47期生)



創部60周年記念式典

ラグビー部

日頃よりラグビー部の活動にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度はたくさんの新入部員を迎え入れることができ大変活気がでて参りました。また、近畿代表選手に4名、国体強化選手候補に1名の選手が選出され、選手たちは、チームとしても個々にも、大変よく頑張ってくれています。

コロナの影響による制限も緩和され、合宿や対外試合、各種イベントなど以前の活動が戻ってきました。また、7月2日にはラグビーカーニバルも復活させました。本校のグラウンドが人工芝にリニューアルされ、素晴らしい環境で毎日練習させていただいております。今後も全国大会出場に向けて日々精進して参りたいと思っております。

その中で、選手の更なる躍進にむけての取り組みにおいて、栄養食料、コーチ費用、練習備品の劣化と消耗等への出費が必要不可欠な状況にあります。物価の高騰もあり、現状の部員数の部費や選手個人ではまかないきれない負担も多くなっています。少しでも選手の負担を軽減し、更なる高みを目指すことができるよう、様々な取り組みをおこなっておりますので今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

SNSを利用して日々、ラグビー部の取り組みについて発信を行っております。よろしければ是非ご覧ください。

ラグビー部監督 川村 圭希 (38期生)

フェイスブック：<https://www.facebook.com/keikorugby>
インスタグラム：<https://www.instagram.com/keikorugby50/?hl=ja>

水泳部

コロナ規制もようやく緩和され、今年3月に水泳部はOB会を開催しました。多数の卒業生の方々に参加いただきましたが、より多くの卒業生に参加していただきたいと思います。毎回OBが景品を持ち寄り参加していただいた方には何かしらの景品が当たるようになっていきます。今回は吉本先生より多数出品いただき、懐かしの水泳グッズが景品として出ました。

今年は11月に開催予定ですので多数の卒業生の参加をお待ちしております。水泳部のFacebookページがありますので、毎回連絡来てないOBの方は連絡いただければと思います。

啓光学園水泳部OB会 会長 三島 徹



陸上競技部

OBOGの皆様には、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。さて、コロナ状況の為、繰り返し延期となっておりますが、2022年11月19日にOBOG総会を校方T-SITEのグランドにて開催する事が出来ました。多くのOBOGのご出席に加えて、名誉会長津野先生、顧問の川端先生、植木先生にご出席頂き、和やかに開催出来ました事をこの場をお借りして、心より御礼申し上げます。

この日に至るまで、数回に渡る役員会において、開催の有無、また、日程の調整等を行い、ようやく開催出来ました。役員の方々には、大変お世話になりました。

総会後の懇親会では、各OBOGの交流を行い、また、川端先生、植木先生からは、陸上競技部の現況をご案内頂き、期待の出来る競技種目等もお知らせ頂きました。

また、陸上競技部のOBOGの人数は、200名以上となっておりますが、不明者も数多くおられる事も確認されました。引き続き、OBOG会の重要な役割である名簿の管理についてもさらなる努力、工夫を必要としております。

今回の総会日程は、まだ、詳細を詰めておりませんが、決定次第、分かる範囲にはなりますが、グループLINEを中心にメール、はがき等で、ご案内させていただきます。

最後にOBOG会は、OBOGの親睦と現役員会への支援を最大の目的としております。その為にもOBOG会の円滑な運営に、多くの皆様のご支援を賜りたいと存じます。そして、啓聖会とのさらなる連携も深めていきたいと考えております。

OBOG会に対して、今以上のご支援、ご理解をどうか宜しくお願い申し上げます。

常翔啓光学園陸上競技部OBOG会会長 濱田 和男 (18期生)



音楽部

みなさんこんにちは。啓聖会啓光学園音楽部OB会です。2022年度の活動報告です。

年に一度夏に開催する総会は、引き続きLINE等で情報提供を行い、オンラインで承認の投票をする方法で行いました。今回の総会では、会長を平岡享(11期)に交代することが承認されました。よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症感染拡大により2020年1月の成人の集いでさせていただいた演奏を最後に演奏活動ができずにおりましたが、約3年ぶりに10月の常翔啓光学園開学65周年記念祝賀会・第60期生第1回同窓会において、ひさしぶりにステージに上がらせていただくことができました。テキーラ、Take The A Train、IN THE MOOD、BLUES ON PARADE、そして新旧の校歌という懐かしい曲目をお届けしました。今回は、いつも演奏をリードしているメンバーが数名先約のため欠席でした。演奏会に集まるメンバーには、普段から演奏活動を続けている者だけでなく、音楽部OB会で演奏する時だけ楽器を持つ者もいます。そもそも演奏メンバーが集まるのかも問題でしたが、それ以上に人前で演奏して恥ずかしくないレベルに達するのかが大きな不安でした。結局15名を超えるメンバーが集まり、3度の練習に加え、当日も

朝からリハーサルを行い、無事ビッグバンドでの演奏をお届けすることができました。ホテルの担当者様からも、想定以上のバンドでした、とのご感想をいただきました。

演奏の参加メンバー、練習をリードしてくれたメンバー、練習会場を提供してくださった(株)プロシード・アーツ様、応援していただいた関係各位、そしてなにより演奏させていただいた啓聖会の皆様、本当にありがとうございます。懐かしいメンバーと演奏できること、拍手をいただくことは、本当に楽しく胸の高鳴る機会であることを再認識することができました。つたない演奏ではございますが、今後ともお声がけを賜れば幸いです。

これに先立つ7月の常翔啓光学園創立100周年記念コンサートに、坪山健一(24期)が坂田明奈さんとともに出演いたしました。OB会からも数名が聴きに行き、盛会だったとのこと。

最後に悲しいお知らせです。河辺員臣前会長(5期)が2月18日逝去いたしました。2019年のOB会発足以来OB会の先頭に立って、活動を軌道に乗せてくださったことに感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

決算報告

2022年度決算 自2022年4月1日 至2023年3月31日

Table with 5 columns: 収入科目, 予算, 決算, 差異, 備考. Rows include 前年度繰越金, 会費, 学園教育振興会奨励金, 雑収入, 受取利息, 総計.

支出の部

Table with 5 columns: 支出科目, 予算, 決算, 差異, 備考. Rows include 印刷費, 通信費, 活動費, 活動費(同窓会支援費), 活動費(65周年記念人工芝寄付), 在校生支援費, 全国大会出場支援金等, 次年度繰越金, 総計.

2023年度予算案 自2023年4月1日 至2024年3月31日

Table with 2 columns: 収入科目, 予算. Rows include 繰越金, 学園振興会奨励金, 会費収入, 総計.

支出の部

Table with 2 columns: 支出科目, 予算. Rows include 印刷費, 通信費, 活動費, 在校生支援金, 61期生第1回同窓会支援費予備費, 全国大会出場支援金, 総計.

2023年度進路結果報告

2023年3月の卒業生は343名(昨年度は409名)でした。また、今年度、新入生は中学校・高校併せて514名で総生徒数1556名となりました。入学式は、コロナも落ち着き3年ぶり対面での式典となりました。ここ数年1500名規模の学校として推移し大阪府下でも有数の生徒数を誇る学校となりました。また、卒業生343名のうち321名(93.6%)が大学進学を希望し、そのうち313名(97.5%)が大学に現役で進学を決めました。卒業後の進路も多様化しており、18人が専門学校へ進学しました。

次に、大学合格者数の詳細は、神戸大学をはじめ、国公立大学に41名合格し、一貫・特進生徒の4人に1人が国公立大学進学しています。5年連続現役合格30名を超える数となり上昇傾向にあります。また、関関同立大91名、産近甲龍220名という結果となりました(過年度生を含む合格者延べ数)。学園内大学へは93名が進学し、その内訳は大阪工業大38名、摂南大学54名、広島国際大学1名が進学しました。本校のスケールメリットを最大限に活用し進学する生徒も増えてきました。

昨年度は、『大学入学共通テスト』に変更となった3年目の年で、コロナもおさまっているようでおさまっていない状況で、国公立大学出願の有無も心配されました。しかし、本校の強みは生徒と担任の先生との面談機会が多いことで、やはり、生徒面談をしっかりとることが、進路決定につながったと思います。休み時間や昼休み、放課後になれば職員室や職員室前のフリースペースに生徒はあふれかえります。つまり、担任の先生方は生徒一人ひとりベストな進路希望を叶えるべく、常に面談を通して生徒の志向を把握して行きます。成績や偏差値だけで画一的な進路指導を行っておりません。生徒の“主体性”を大切に進路指導しており、これは、本校の良さ伝統でもあります。生徒の悩みなどを聞いてあげることによって受験を乗り越えることができると思い日々指導してきました。

また近年、生徒の主体性を評価する総合型選抜・学校推薦型選抜入試など新たな大学入試に変化しています。そして、ICT教育を実践し、全国10の国公立大学とオンラインなどで大学説明会を実施した“目指せ！国公立大学ガイダンス”など、新しいことに我々も試行錯誤し挑戦し続けています。ますます多様化する大学入試に向えます。ますますきめ細やかな進路指導を心がけていきたいと思っております。同窓生の皆さまにおかれましても母校のさらなる飛躍を期待していただくとともに、ますますのご支援をうけたまわりますよう、よろしくお願い致します。

常翔啓光学園中学校・高等学校 進路指導部長 川端 健介

2022年度 大学等合格状況 (7月12日現在)

Large table showing university admission statistics by category: 国公立, ほか私大, 短期大学, 専門学校, 就職. Includes sub-totals for 8私大, 学園内大, 3女子大, and 8私大合計.

編集後記
ようやくのコロナ禍による世界的な災害の時代が終焉を迎え、コロナ前は違う新たな時代が幕をあけました。そこにはつややかに進むかを試行錯誤をしていく今年を活力をもつて歩む必要がありそうです。